

高井戸第三小 学 校

じっくり読書 すすんで探究 やりたいことが見つかる！ 学校図書館

今の学校図書館

各クラス「図書の時間」として割り当てられた週1時間に、教科単元に合わせた読書活動や情報活用の学習を行っている。授業では読書活動の時も情報活用の時も「めあて」をたて、自らの成長や変化に気付くよう、振り返りもしている。

学校図書館の運営

学期ごとに「学校図書館活用例」、月ごとに「学校図書館活用時間割」を配布。計画的な学校図書館活用を推進している。学校図書館運営委員会では情報活用についての校内研究会を企画し開催した。

1年間の主な活動

年度始め 各学年オリエンテーション

読書旬間 年2回（1学期、2学期）

＜図書委員による主な企画＞

- ・オリジナルビンゴ・図書集会・ブックじ
- ・図書委員の読み聞かせ・給食コラボなど



朝の読み聞かせ隊（PTA ボランティア）

「ままーず」による読み聞かせ等

夏休み蔵書点検（教員と連携）

公共図書館の公募への参加推奨

- ・「杉並区子ども読書月間」標語募集（図書委員）
- ・杉並区学校図書館を使った調べる学習コンクール
- ・すぎなみ本の帯アイデア賞（第4学年）
- ・学校図書館だより発行
- ・学校図書館だより教職員版

特色ある取組

・読書ノート

児童が読んだ本や読み聞かせて聞いた本を記録する。書誌情報や、簡単な感想を書けるようになることを目的としている。10冊たまるとに「もう1冊チケット」がもらえる。

・推薦図書「これよも！」（各学年25冊）

児童が良著に出合うためのきっかけづくりとして作成した各学年の推薦図書。読書ノートにあるビンゴをしながら、楽しく取り組めるよう工夫している。全部達成すると、表彰される。

- ・「オンライン事典サービス sagasokka!」の活用
4年生からポプラ社の「sagasokka!」を活用する。利用指導の後、調べる学習に使う。テーマの概要を知る時や、関連するキーワードを探す時に有効である。国語科、社会科、総合的な学習の時間等で活用している。



これからの学校図書館

調べる学習を支援する図書資料は多く、学習利用に適する蔵書構築がすすんでいる。探究型の学習では、児童自ら図書資料を探す姿が多々見られる。館内に思考スキルを掲示し、シンキングツールや情報カードを常備していつでも手に取れるよう環境面も充実してきた。今後は、必要な情報リテラシーの育成をサポートする「情報センター」としての機能を強化したい。体系的な情報活用能力の育成が課題である。

